堀場製作所OB会

会報

通巻51号
発行日 令和5年5月31日
発行者　堀場製作所OB会
　　酒井　俊英
編集者　伊藤　哲

◆研修旅行
・一泊研修旅行　金沢

◆HOVC活動　ボランティア部会
・京都マラソンボランティア活動参加報告
・桂川流域クリーン大作戦参加報告
・鴨川クリーンハイク
・鴨川茶店ボランティア

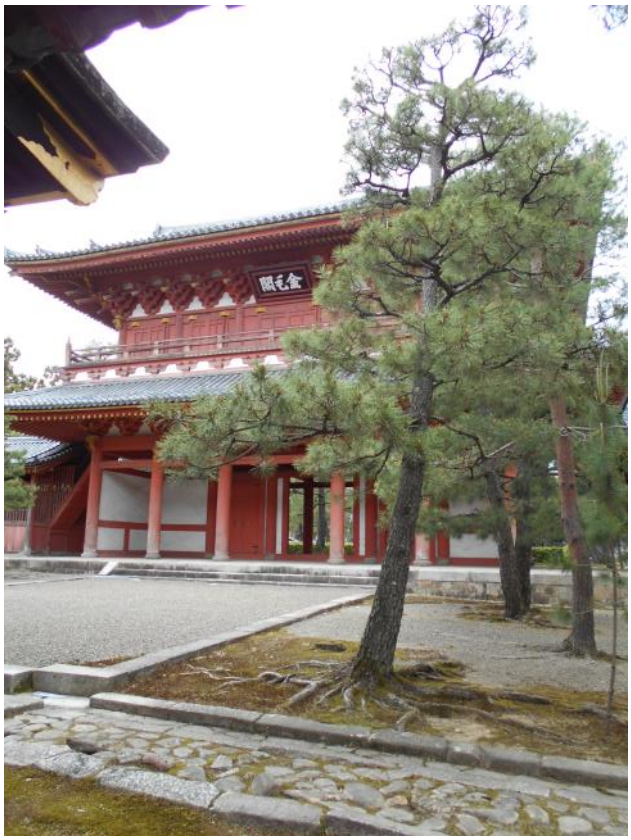
◆OB会行事報告
・春の懇親会‥‥‥‥‥‥‥京都

◆クラブ活動報告
・山遊会
・ゴルフクラブ京都
・釣りクラブ
・カラオケクラブ
・ボウリングクラブ
・東京カルチャークラブ

◆会社ニュース　ピックアップ

◆OB会だより
・新入会員紹介
・訃報
・年間行事計画について
・会報、ホームページへの寄稿について
・OB会入会手続きについて

◆編集後記



京都紫野　大徳寺三門金毛閣(きんもうかく)

大徳寺の三門は応仁の乱後、1529年(享禄2年)に柴軒屋宗長の寄与により再建されました。織田信長の大葬儀が大徳寺で行われてから7年後の1589年(天正17年)、三門を単層で完成させました。のちに千利休が上層を完成させ、その際に雪駄履きの自身の木像を安置したことで、豊臣秀吉の怒りを買い、切腹を命じられたという逸話が残っています。この「金毛」とは金毛の獅子のことで、すぐれた禅僧の姿のことを言います。

当時武家からの帰依が多かった禅宗の寺には特徴がありました。東福寺の伽藍面（がらんづら）「大徳寺の茶面（ちゃづら）」、「南禅寺の武家面（ぶけづら）」、「東福寺の伽藍面（がらんづら）」、「建仁寺の学問面（がくもんづら）」、「妙心寺の算盤面（そろばんづら）」などそれぞれの特徴がよくあらわされています。

（伊藤　哲　記）

研修旅行

一泊研修旅行　金沢（2023/3/18土～19日）

一泊旅行　古都金沢

3月18日～19日　古都金沢の一泊旅行を計画しました。昨年までは2月に行きましたが、年末のあわただしい時に準備が必要だったため、3月に行くことにしました。

行程

1日目：京都駅八条口（集合）－三国港たけ庄（昼食）－東尋坊－永平寺－山代温泉　山下家

2日目：山代温泉散策－兼六園、金沢城－金沢駅旬魚亭（昼食）－近江町市場－帰路

京都駅八条口に集合し、名神高速、北陸自動車道を通り、三国港たけ庄で海鮮丼の昼食をとりました。

東尋坊は、越前加賀海岸国定公園にある国の天然記念物で、柱状節理のダイナミックな岩が見どころです。ごつごつした岩を歩き体感しました。

永平寺は曹洞宗の大本山では、立派な寺院で、よくぞ斜面に建物を作ったな、と感心するような作りでした。

山代温泉　山下家で宿泊しました。

今回、全国旅行支援を申し込みました。宿泊費が2割引きと1000円のクーポン券がつくものでした。クーポン券はスマホでアプリをインストールする方式であったため、みんなが四苦八苦して、ようやく全員がクーポン券を入手できました。

2日目は山代温泉の散策で、あいうえお発祥の地という碑があり、そうなんかと感心していました。

兼六園では大型バス駐車場が移転としか記されてなく、時間をロスってしまいました。

みんなが「ことじ灯籠」をめざし記念撮影、ここでは行列ができていました。

金沢城は石川門、五十軒長屋が復元され、その偉大さに感心しました。

昼食は旬魚亭でとりました。

午後には、時間の制約があり、近江町市場と手取峡谷綿ヶ滝のどちらが良いか多数決にて、近江町市場に行くこととしました。

出口を間違えないよう駐車場の方が親切に教えてくれました。

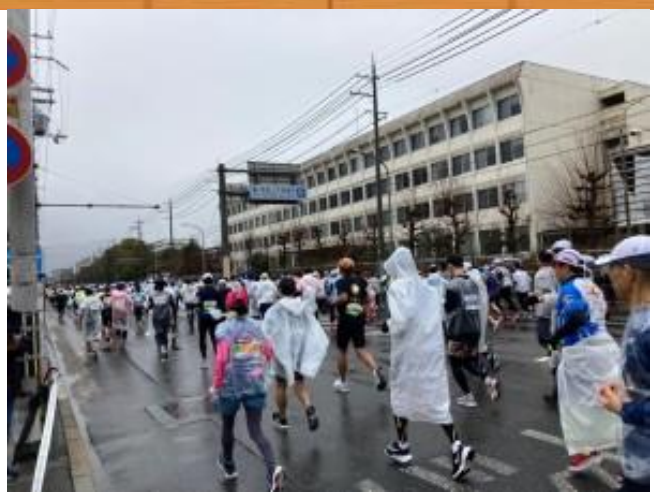
皆さん、土産を手に、一路北陸自動車道を走り京都駅八条口に戻りました。

参加者（敬称略）　近田　伯久，宮崎　育雄，酒井　俊英，中村　十規人，石黒　英憲，森山　晶成，丸山　博，岡田　知二，三橋　泰夫，北川　光夫，沢本　昌順，森本　順孝の12名

（三橋　泰夫記）

HOVC活動　ボランティア部会

京都マラソンボランティア活動参加報告



コロナで3年振りのフル開催となった京都マラソン2023が2月19日(日)に開催されました。

堀場製作所OB会からも８名が運営ボランティアとして参加。運営の合間には大きな声と拍手でランナーの皆さんを精一杯応援しました。

ＯＢ会メンバーの担当区間は前回から変わり、今回は三菱自動車近くの四条通りとなりました。前日からの雨が残る中、市民ランナー約16,000人が元気に出走。先頭の車椅子ランナーの集団が通過後、後を追うように４車線から溢れんばかりの市民ランナーの大集団が四条通を西へ駆け抜けていきました。今年は生憎の雨模様となりましたが、ボランティア活動に参加された皆さま、ご苦労様でした。

参加者（五十音順、敬称略）：伊藤、笠川、北川、酒井、沢本、中村（正）、宮下(*)、森山
*: 初参加　新規入会の若手会員の皆さんや、改めて手軽に参加できるボランティア活動に関心をお持ちの方は、近くの幹事にお問い合わせください。

（沢本　昌順　記）

桂川流域クリーン大作戦　参加報告

2023年2月26日桂川流域クリーン大作戦に堀場ＯＢ会４人が参加しました。
時々雪が舞う中、松尾橋から渡月橋までの河川敷をゴミを拾いながら往復しました。ゴミの量は少なめ、無事に半日すごしました。
参加者(敬称略)　北川、酒井、中村(正)、宮下

（北川　光夫　記）

HOVC活動　ボランティア部会

鴨川クリーンハイクボランティア

鴨川を美しくする会主催の「鴨川クリーンハイク」4月29日（祝日）に参加してきました。五条大橋から丸太町橋間2.5Kmの沿歩道清掃（ごみ拾い）には、酒井（俊）、中村（正）、小川（柾）、中井（和）、岡田（知）、矢吹（岡田さん友人）、笠川の７名が、雨天の予報から一転快晴に恵まれ多くの参加者で清掃を始めました。新緑の沿歩道を沢山の観光客の方々とすれ違いながら垣根の中などのジュース缶やペットボトルなどのゴミを拾いました。

ときどきマスクが落ちてたりしていました。ＧＷ初日でコロナ感染症影響から解放されたのか、参加人数300名との発表がありました。また、外国からの観光客の方々を多く見かけました。
約1時間の作業で少し汗が出てきたところで、ゴールの丸太町橋に到着。
記念品とジュースをいただき、京都御苑、烏丸通りまで歩き地下鉄にて帰宅しました。

（笠川　重美　記）

鴨川茶店整理ボランティア

新型コロナ禍で中止されていた鴨川茶店が3年振りに開催され、府立植物園西側の鴨川河川敷半木(なからぎ)の道で紅枝垂れ桜を楽しむ人々で賑わいました。

北大路橋東詰めのゲート付近で、整理誘導ボランティアを、4/8は北川光夫さん、沢本昌順さん、宮下裕安さん、伊藤哲、4/9は石黒英憲さん、小川柾幸さん、中村正博さん、森山晶成さんで担当しました。

8日オープニングに門川京都市長が来られ、記念に写真に収まりました。一時雨が降った時もありましたが、外国からの観光客やイベントを楽しむ人々で賑わっていました。

担当された皆様ありがとうございました。

（伊藤 哲　記）

レジャー例会

春の懇親会開催報告

2023 年 春 の 懇 親 会 開 催（2023/4/22）

高瀬川源流庭苑の新緑が眼にしみるがんこ高瀬川二条苑で、０Ｂ会恒例の懇親会を開催しました。小川幹事の司会で始まり、山下執行役員より挨拶と堀場の近況報告を頂き、酒井代表幹事の挨拶に引き続き、内山さんによる乾杯で開宴となりました。

今回は、本社地区より宮川さん、名古屋地区より杉浦さんが初めて参加されました。あちらこちらで近況報告や現役時代の逸話や苦労話し等で話題が尽きず、あっという間に２時間がすぎました。
大盛り上がりの懇親会の中締めを吉井さんにて行っていただき、全員で記念写真を撮ってお開きとなりました。
次回の懇親会は9月16日（土）18時から、場所は今回と同じがんこ高瀬川二条苑です。皆さま、今から予定いただき、奮ってご参加ください。

（沢本　昌順　記）

クラブ活動報告

山遊会

堀場山遊会例会報告
＜第６９回＞　例会山行
年月日　　令和４年１０月２８日（金）　晴
山行先　　高野三山　摩尼山（1，００４m）
楊柳山（1，００８m）　転軸山（９３０m）
参加者　下川　和子・下川　博司・倉原　政治・宇野久二男・小川　柾幸・加藤　順三（夫妻）・水野　和茂
9月１日から高野山行き高速バスが1日2往復に増便されるとのことで、満を持して高野三山山行を計画。
７時５０分京阪バス八条口案内所に集合、予約番号を告げてチケット入手。８時１０分京都駅八条口出発。
途中高速道路の渋滞で高野山奥の院前バス停に定刻２５分遅れの１１時２０分到着。

取り敢えず奥の院入口で集合写真を撮る。
ここから登山組は宇野さん下川2名と散策組は倉原さん加藤さん夫妻小川さん水野さんペアの3組に分かれ、金剛峯寺拝観券とバス１日フリー乗車券のセット券を持って自由散策へ。登山組は１１時２５分奥の院前出発、墓標が立ち並ぶ道を少し進み玉川橋を渡って自動車道を行く。摩尼山への取り付けが分からないまま舗装道を進み、１１時５０分右楊柳山の道標を見る。摩尼山への案内がないのを訝りながら地道を進むうち山の登りとなり、１１時３５分子継峠に出案内板の地図を見て、我々が転軸山を外して時計回りに楊柳山に向かっていることに気づいた。先ずは目前の急坂に取り付く、途中下ってくるドイツ人男女３人にあう。ピークに上り詰め今度はアメリカ人男女３名に会い驚く。すでに１３時、ここで昼食を済ませ早々に出発、いくつかピークを越え１３時５０分楊柳山に到着記念写真を済ませ先を急ぐ。東摩尼山を通り１４時４０分摩尼山山頂を経て急坂を下り１５時２２分登り口まで来た。アスファルト道と地道が接するところに車止めが置かれ、そこに摩尼山への案内板があり、少し奥まっていたため見過ごしたのが原因だった。登山道一帯の山々はスギ林で見晴らしはなく、わずかな広葉樹の紅葉が新鮮に映える。途中出会ったハイカーは単独の男女数名で、ウイークデーとはいえ少し寂しい感じだ。帰路待ち合わせの奥の院前バス停１５時３０分を少しオーバーして散策組に合流。１５時５０分発のバスに乗り京都駅八条口に１８時４５分、定刻の１０分遅れで到着。三山の予定が二山に終わったが、穏やかで秋晴れの高野山を満喫し解散した。

（下川　博司　記）

＜第１２回＞　総会・懇親会

年月日　　令和５年４月７日（金）雨
山行先　　高雄　参加者　　下川　和子・下川　博司・倉原　政治・丸山　博・宇野　久二男
第７０回例会山行として大覚寺大沢の池から菖蒲谷池を経て高雄まで歩く予定であったが、全国的な春の嵐で終日雨が降り続きやむを得ず中止とする。午後からの第１２回総会・懇親会のみ開催することにして、JRバス高雄栂ノ尾行き京都駅１１時３０分発に乗り合わせ高鼻町に１２時１４分下車、会場の「高雄路やまざき」へ。
先ずは生ビールで乾杯の後ランチバイキングに舌鼓。
１５周年記念霧ヶ峰遠征、高野三山の山行について報告、会員の近況披露につづいて、今後の例会山行について協議。5月8日（月）河内飯盛山から野崎観音、6月9日（金）高取城跡とすることに決定した。１４時ラストオーダーでデザート等を注文、最後に庭を背景に記念撮影してJRバス14時４６分発に乗り流れ解散とした。

（下川　博司　記）

クラブ活動報告

ゴルフクラブ　京都

（2023/4/21金）
第13回堀場製作所OB会ゴルフコンペを滋賀県大津市 比良ゴルフ倶楽部にて15名の参加で行いました。
前回の記念大会から6カ月経ての開催で参加者が集まるか懸念しましたが初参加(数名)を加え15名での開催となりました。

参加者の皆さんは集合予定時刻より随分早見にゴルフ場に到着され顔見知りの方とラウンド前から楽しそうに談笑されている姿が印象的でした。
イシさんのティショットで戦いの火ぶたが切られました、ここからは負けず嫌いの皆さんの気概がゴルフボールに乗ってナイスショットや、あれと自然と声を発するショットも時折あり、比良連峰の新緑を見ながらの楽しいラウンドとなりました。
成績発表は名幹事の杉山さんが面白おかしく進行役を務められました。
優勝者は宇野さんが実力と運も味方につけて（G80 HC5.6）NET74.4の見事なスコアーです。
準優勝は小菅さんが持ち前のパワーで飛距離を武器にされてのNET74.8と僅差の勝負でした。
3位は中村(正)さんが運で（HC25.2）滑り込まれました。
5位は若手の上山さんBBは中村(十)さんと5名の方々が賞品をお土産にされました。

ドラゴン賞　小菅さん2個
ニアピン賞　向原さん　柳田さん　内山さん

次回の第43回の開催日は、令和5年10月20日（金）（場所：大津カントリークラブ 西コース）の予定。幹事は、宇野さん、小菅さんで行います。多くのOBの方々の参加をお願い致します。
今回の参加者①宇野久二男　②小菅博之　③中村正博　④河合治男　⑤上山忠洋　⑥杉山頼道⑦向原和秀　⑧内山正克　⑨石田耕三　⑩柳田祥男⑪倉原政治　⑫山田毅　⑬三好則夫　⑭中村十規人⑮水野和茂（順位順）

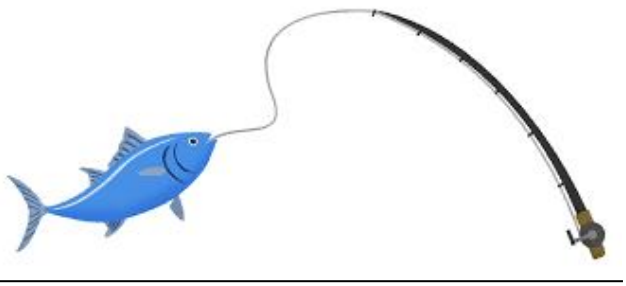
（倉原　政治　記）

釣りクラブ

4月13日に今年初の沖釣り例会を開催しました。参加者は中村さん、内原さん、調子の3名です。

暑くも寒くもなく、黄砂を除き快適な船上環境でした。今春は気温の高い日が続いていますが、海水温は依然低く魚の活性は今ひとつでした。
そんな状況下でしたが、各自大型の真鯵、連子鯛、カサゴ、大型のウマズラハギ等々の釣果を上げ、約5ヶ月ぶりの沖釣りを楽しむ事ができました。興味のある方のご連絡をお待ちしております。

（調子　均　記）



クラブ活動報告

カラオケクラブ

２月２５日【土】は寒い日でしたが、１６時から【紬】にて会員８名、特別参加２名の１０人と久々に賑やかな会となりました。
まずキャンディーズ「春一番」を全員で歌いスタートしました。
大崎さんは中々カラオケ通で熱唱（笑）、野口さんはグループサウンズ等18番を披露。
人気の小田和正、サザン、テレサ・テン、高橋真梨子等を爆唱し、最後テーマソングの青春時代を全員で合唱しお開きとなりました。大満足次回は、４月２２日【土】を予定。

当日は、吉井さんやレギュラーメンバーに加え、大崎さん、野口さんの参加がありました。

（小川　柾幸　記）

４月２２日【土】春の懇親会に続き１５時半より、紬にて開催致しました。
同日開催により参加者が１１名（特別参加者１名含）の参加となりました。
まず、堀場OBの森かれんさんの市会議員３選当選を祝い全員でお祝いの乾杯しました。
引き続きカラオケをスタート。
久々の参加の湯浅一郎さん、中々のカラオケ通で

自慢の声を披露しました。
常連メンバーが次々と熱唱、あっと言う間に１９時となり会のテーマソング「青春時代」を全員で合唱し散会となりました。
次回は、６月２４日【土】開催予定です！

参加者、吉井、石黒、大崎、分部、大川、野口、山尾、湯浅、中村（正）、小川。

（小川　柾幸　記）

クラブ活動報告

ボウリングクラブ

大雪でも寒くてもボウリングは半袖でプレーできます。
さて、堀場製作所OB会オープンボウリングカップ1月例会の試合結果です。
優勝は好調が続く、小林正和さんです。
体力を活かしたパワーボウリングお見事！
２位には170点以上を３ゲーム揃えた永田真寿夫さんです。
ハイゲームは長澤穣さんが最後で実力発揮です。
ギックリ腰の毛利は投げるだけで精一杯の最下位でした。
新年会は木屋町の河久で開催しました。（毛利記）
なお、当会会員の山口直矢選手が
第6回びわ湖放送杯アクトボウリングトーナメントで優勝です。
YouTubeで、「ボウリング　びわ湖」で検索すると決勝全ゲームが見られます。
胸に「ＨＯＲＩＢＡ」を付けて直矢君が大活躍です。ぜひご覧ください。

順位	氏名	Net	次回HD
優勝	小林正和	602	-1
２位	永田真寿夫	591	25
３位	芦谷恭通	586	27
４位	江頭美紀子	586	43
５位	長澤穣	531	2
６位	中岸プロ	522	-23
７位	田中光子	508	68
８位	山田毅	472	18
９位	平松尚武	442	-18
10位	毛利隆文	422	5

ハイゲーム賞　長澤穣　219点

全日本十九歳以下で優勝した
山口直矢さん

（毛利　隆文　記）

ボウリングクラブは、毎月例会を開催しています。各月分はホームページでご覧ください。
一度、参加してみませんか。

クラブ活動報告

東京カルチャークラブ

東京支部で新しく誕生した東京カルチャークラブ、その第1回活動行事として、国立科学博物館を訪問しました。国立科学博物館は1877年（明治10年）に創立された、日本で最も歴史のある博物館の一つであり、自然史・科学技術史に関する国立の唯一の総合科学博物館です。コロナ過前の2019年には、年間250万人以上の入館者があり、標本・試料数は、230万点を誇ります。上野本館は、日本館、地球館、それと特別展と3つの会場があり、1日ではすべてを見学することはできない規模です。

今回は、特別展、地球館の一部を見学しました。今回訪問した特別展「毒」は、昨年11月1日から本年2月19日まで開催され、既に来場者が20万人を突破した人気の特別展です。2月10日金曜日、関東地方は朝から雪が降り、そのため参加予定の龍さんは、急遽大事を取って別の日程で訪問することになり、尾崎さん、横山さん、横浜さん、石川の4名での訪問となりました。

雪のため来場者は少ないと思っていましたが、ものすごい数の来場者に驚きました。人間を含む生物に害を与える毒、その毒に対して、多くの視点から研究者が深く掘り下げ、国立科学博物館の豊富な展示資料と合わせて解説されておりました。植物では、根・茎・葉を守るために毒を使ってそれらを外敵から守ろうとしています。逆に動物に食べてもらって種子を運んでもらう植物は数多くあります。未熟な果実には毒を含ませ、熟すまで食べられないようにして、熟すと動物に食べてもらうために毒性をなくし、甘みを増やし、見た目にもおいしそうに変化させます。生き残りに毒をうまく利用しています。動物は身を守るためだけでなく、獲物を得るために毒を用いることもあります。古くから毒は人間にも利用されており、時には武器として、また薬としても利用されてきました。獲物を取るために毒を活用したり、快適な生活のために、例えば蚊取り線香のように毒を利用してきました。

食文化では、本来は強い毒のため食べられないものも、毒を除去、もしくは無毒化することで、食材として活かしてきました。ふぐがそのよい例です。鰻も有毒動物で、血液と粘膜に毒を持っていますが、加熱することで無毒化され食べることができます。毒のイメージが強いヒ素、クロムなどは、体内では何らかの働きをもつ必須の元素と言われています。不足すると欠乏症になり、過剰摂取すれば中毒になり、まさに毒にもなり、薬にもなるのです。“あらゆる物質は毒になる。毒か薬かは使う量による。”アルコールも体にとっては毒です。しかし、適量であれば、薬にもなります。まさに、毒か薬かは使う（飲む）量によります。そんなことを考えながら、見学後は上野で懇親会を開催して、毒展の感想、近況報告などで盛り上がりました。（2023年2月10日）（石川　達夫　記）

TOKYO NATIONAL MUSEUM
JAPAN

会社ニュースピックアップ

HORIBA 創立70周年記念式典を開催

2023年1月28日、「Day One - our starting line」というコンセプトのもと、HORIBA創立70周年記念式典を開催しました。これからのHORIBA のあるべき姿やホリバリアン一人ひとりがどのように行動すべきかを考えるきっかけとする日です。

式典では、ホリさんの創立記念スピーチなどを通じ、創立当初からHORIBAが築き上げてきた歴史や大切にしている文化、強み、技術、国を超えたグローバルなつながりを再確認するとともに、ダンさんによる未来宣言では、Vision、Mission、Value（MVV）やMVV がつくられたプロセスを参加者に共有しました。また、式典参加者が、堀場特別賞やOne Company Award の表彰式、パネルディスカッションや参加者同士のコミュニケーションなどから新しくチャレンジする刺激を受ける場となりました。

2022堀場雅夫賞授賞式を開催

2022年10月18日、京都大学国際科学イノベーション棟にて、「2022堀場雅夫賞」の受賞記念セミナー、および授賞式を執り行いました。堀場雅夫賞は、「分析計測技術」に関する国内外の大学または公的研究機関の若手研究開発者対象の奨励賞として2003年に創設したものです。2022堀場雅夫賞の募集テーマ「カーボンニュートラル社会に向けた水素の利活用に貢献する分析・計測技術」に国内外から26件の応募が寄せられ、堀場雅夫賞に3名、特別賞に2名が受賞されました。

左より：ホリさん、佐藤 勝俊先生、高橋 康史先生、中村 崇司先生、髙橋 幸奈先生、ヘルゲ・シュタイン先生、山地 憲治 審査委員長

HIMaC²オープニング式典をUCIで開催

米国カリフォルニア大学アーバイン校（以下、UCI）との連携により 2021年7月に開設した「HORIBA モビリティ・コネクティビティ研究所」（HORIBA Institute for Mobility and Connectivity² （HIMaC²））のオープニング式典が 10 月 11日（現地時刻）に開催されました。オープニング式典はUCI のハワード・ギルマン学長を筆頭に大学や現地の関係者が多数ご列席のもと、HIMaC² が設置されている UCI構内「エンジニアリング・ゲートウェイ」ビルにて盛大に執り行われました。

左から：UCI ヴォヤ HIMaC²所長、ホリさん、UCI ギルマン学長、ハクさん、 UCI エガーシュテット工学部長

ＯＢ会だより

― 新入会員紹介 ―（敬称略）

新入会された会員を紹介します。櫻木史郎、中川賢亮、加藤保英、松村年将、米田有利、岩本弘和

― 訃　報―

村田敏幸様(享年75歳)、永瀬禎一様(享年88歳)、多根井文男様(享年86歳)、大志万継影様(享年88歳)がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

― 年間行事計画について―

計画についてはホームページに「年間行事予定表」年間OB会行事を公開していますが、会員の皆様に参加いただく行事を紹介します。

- 鴨川を美しくする会
  - 鴨川クリーンハイク（年間5～6回の予定）
  - 鴨川茶店（4月済）
  - 鴨川納涼（8月予定）
- 工房学習支援（年間：7～8回の予定）
- 研修旅行（3月済）
- 春の懇親会（4月済）
- 懇親会（9月予定）
- ブルーベリー摘み体験(8月予定)
- レジャー例会（6月、11月の予定）

開催日が決定した行事についてはホームページまたはメールにて紹介させていただきますので参加いただくようお願い致します。行事内容の詳細は、代表幹事・幹事にお問合せ下さい。

◆代表幹事　酒井　俊英

E-Mail：sakai727@yahoo.co.jp

TEL　090-5965-0389

― 会報･ホームページへ寄稿下さい ―

会報への寄稿文､ホームページへのクラブ活動､ボランティア活動等の諸活動原稿をお寄せ下さい。

◆送付先

会報事務局編集者　伊藤 哲

メールアドレス　horiba.ob@gmail.com

〒601-8510京都市南区吉祥院宮の東町2

堀場製作所OB会　会報事務局宛

編 集 後 記

京都に文化庁がこの春から移転してきました。文化行政を大胆に転換し、観光、まちづくり、福祉、教育、産業などの様々な関連分野との連携を強化し、総合的に施策を推進することが不可欠 …が移転の目的らしいのですが、新型コロナ対応の制限が緩和され、京都は以前の観光公害とも言える状況が戻ってきています。市バス利用など日常生活に影響を及ぼしています。

「老乱」（朝日文庫)久坂部　羊（著)を読みました。老い衰える不安をいだく老人と、介護負担で疲労困憊の家族。介護する側の視点だけでなく、認知症の老人の心の動きをリアルに描き、親と子の幸せを探る。在宅医療を知る医師でもある著者が描く、書評・テレビでも話題になった認知症小説です。現代の課題でもある認知症とその介護について現実はどのようなものかを目の当たりにできる作品です。

生活に欠かせないスマホが脳科学の世界で物議を醸している。スマホに依存すると30～50代の働き盛りでも、もの忘れが激しくなり判断力や意欲も低下するという。ワープロで漢字を覚えなくてもすむ。インターネットで検索できるので記憶しなくてもすむ。提出用の論文も書いてくれるChat GPTの取扱いが注目を集めている。もはや編集後記もインターネットからの引用が多い。どうなる将来。　（編集担当）